

## 地域戦略室 政策課

### 1 組織、管理事務等の改正（平成30年度改正分）

平成30年度の組織改正については、現市政の折り返し点を経過したことや、「第4次三田市総合計画後期基本計画」のスタートから2年目となることから、「成長から成熟するまち」への転換を見据えた行財政構造改革の着実な推進と、重点施策の確実な進捗管理を主眼において見直した。

#### (1) 公共施設マネジメント推進体制の確立

「三田市公共施設マネジメント推進に向けた基本方針」に基づいた施設マネジメントを市民との対話・協働のもとで着実に推進するために、経営管理部財務室に「公共施設マネジメント推進課」を新設した。

#### (2) 歳入確保体制の強化

経営管理部に、税務と収納対策を所管させる「歳入推進室」を新設した。

#### (3) 里山の保全と活用の推進

本市の地域資源である里山の保全と活用を推進するために、市民生活部環境共生室に「里山のまちづくり課」を新設した。

#### (4) 高齢者施策の総合的な推進

高齢者概念の見直しを踏まえつつ、社会での活躍推進と介護保険を除く高齢者福祉を総合的に推進するために健康福祉部保健推進室に「いきいき高齢者支援課」を新設した。

#### (5) 実績を踏まえた事務分掌の見直し

ア 市民生活部市民協働室「多世代活躍支援課」を廃止し、社会教育施策を協働推進課・文化スポーツ課・健やか育成課、若者施策をまちのブランド創造課、高齢者施策をいきいき高齢者支援課へ移管した。

イ 健康福祉部福祉推進室「地域福祉医療推進課」を廃止し、三田安心ケアシステムをいきいき高齢者支援課へ、その他業務を福祉総務課及び健康増進課へ移管した。

#### (6) 課題の「見える化」や対応力を強化するための組織体制の見直し

ア ブランド創造戦略への対応を強化するために、地域戦略室まちのブランド創造課に「ブランド企画係」を新設した。

イ 死去に伴う諸手続きを一元化するために市民生活部市民文化室市民課に「おくやみコーナー担当」を置き、7月からサービスを開始する。

ウ 地域担当制の強化を図るため、市民生活部市民協働室協働推進課の地域担当と市民センター等の管理業務を分離するとともに、庁内横断的な支援体制を構築した。

エ 健康福祉部福祉推進室福祉総務課に「生活支援係」を置き、生活困窮対応の強化と窓口の明確化を図った。

オ 里山景観と古民家等を活用した地場産レストラン群形成を推進するため、地域振興部都市政策室まちの再生課に「美食のまち推進係」を新設し

た。

カ 効率的で柔軟性のある組織体制とするために次の2課をスタッフ制とした。

(ア) 市民生活部市民文化室文化スポーツ課

(イ) 健康福祉部福祉推進室障害福祉課

## 2 庁議

### (1) マネジメント会議

施策推進に係る重要懸案事項についての方針決定（開催47回、議題182件）

### (2) 政策調整会議

各庁議に付議すべき事項について事前整理（開催1回、議題1件）

### (3) 経営会議

市政推進方針の最高決定機関（開催22回、議題274件）

### (4) 総合調整会議・地域担当会議

全庁的な調整が必要な事項について具体的な検討を実施（開催6回、議題23件）

## 3 まちづくり基本条例の具体化の取り組み

### (1) まちづくり基本条例の検証

三田市まちづくり基本条例は、平成29年7月1日をもって施行後5年を経過するため、同条例の施行状況等について検証を実施した。

#### ア 検証の手続

##### (ア) 市による内部検証

市において、三田市まちづくり基本条例の施行状況を調査し、その結果を三田市まちづくり基本条例検証報告書として取りまとめた。

##### (イ) 三田市まちづくり基本条例検証委員会による外部検証

市が取りまとめた三田市まちづくり基本条例検証報告書の内容を審議した。

#### イ 検証結果

三田市まちづくり基本条例検証委員会から「概ね適正に運用されており、今回の検証をもって速やかに条例を改正する必要性はないと判断する。」との答申を得た。

(2) 三田市市政への市民参加条例の運用状況

ア 市民意見を聴く手続の実施状況

対象事項（7条）	市民意見を聴く手続（8条）
(ア) 市の憲章、宣言等 (イ) 市の総合計画その他市政における基本的な事項を定める計画等 (ウ) 市政における基本的な事項を定める条例 (エ) 義務を課し、又は権利を制限することを内容とする条例 (オ) 上記に掲げるもののほか、市民の生活に重大な影響を及ぼすおそれがあると市長等が認める制度、事業等	ア 附属機関（公募・名簿委員の割合が3割以上） イ パブリックコメント（30日以上） ウ 意向調査 エ ワークショップ オ 公聴会 カ 意見交換会 キ その他の手続
<上記の例外> ・市税の賦課徴収その他金銭の徴収に関するもの ・市長等の裁量の余地がないもの ・市長等の機関内部の事務処理に関するもの ・関係法令の改正に伴う規定の整備その他軽易なもの ・緊急に行わなければならないもの	

【運用状況】

	三田市地域公共交通網形成計画	公共施設マネジメント推進に向けた基本方針	第5次三田市男女共同参画計画
種別	基本的な計画等	基本的な計画等	基本的な計画等
区分	新規	新規	改正
作業期間	平成29～30年度	平成29～30年度	平成28～29年度
計画期間等	平成31～36年度	平成30～39年度	平成30～34年度
市民意見を聴く手続	パブリックコメント※ ワークショップ アンケート	パブリックコメント 公共施設タウンミーティング	附属機関 パブリックコメント 市民意識調査

※予定

	第2次三田市スポーツ 推進基本計画	人権施策基本方針	第3次三田市環境 基本計画
種別	基本的な計画等	基本的な計画等	基本的な計画等
区分	改正	改正	改正
作業期間	平成28～29年度	平成29～30年度	平成28～29年度
計画期間等	平成30～34年度	—	平成30～34年度
市民意見を 聴く手続	パブリックコメント アンケート	パブリックコメント* 意見聴取会*	附属機関 パブリックコメント アンケート

※予定

	三田市一般廃棄物 処理基本計画	第5次三田市障害者福祉基本 計画・第5期障害福祉計画 ・第1期障害児福祉計画	第7期三田市高齢者 保健福祉計画・ 介護保険事業計画
種別	基本的な計画等	基本的な計画等	基本的な計画等
区分	改正	改正・新規	改正
作業期間	平成29～30年度	平成28～29年度	平成28～29年度
計画期間等	平成30～39年度	平成30～35年度	平成30～32年度
市民意見を 聴く手続	パブリックコメント* アンケート	パブリックコメント アンケート	パブリックコメント ニーズ調査

※予定

	第2次健康さんだ 21計画	三田市食育推進計画	三田市市街地周辺景観計画 及び山並み・田園景観計画
種別	基本的な計画等	基本的な計画等	基本的な計画等
区分	改正	改正	新規
作業期間	平成29～30年度	平成29年度	平成28～29年度
計画期間等	平成26～34年度	平成25～34年度	—
市民意見を 聴く手続	パブリックコメント* アンケート	パブリックコメント アンケート	パブリックコメント アンケート 意見交換会

※予定

	三田市空家等対策計画	三田市立学校のあり方に関する基本方針	三田市上下水道事業経営戦略
種別	基本的な計画等	基本的な計画等	基本的な計画等
区分	新規	新規	新規
作業期間	平成 28～29 年度	平成 29～30 年度	平成 29～30 年度
計画期間等	平成 30～34 年度	—	平成 31～40 年度
市民意見を聴く手続	パブリックコメント アンケート	附属機関 パブリックコメント※ 意見交換会※	パブリックコメント※ 懇話会

※予定

	三田市下水道ビジョン	障害を理由とする差別をなくしすべての人が共に生きるまち条例
種別	基本的な計画等	基本的な条例
区分	新規	制定
作業期間	平成 28～29 年度	平成 28～29 年度
計画期間等	平成 30～39 年度	—
市民意見を聴く手続	パブリックコメント 市民意識調査	附属機関 パブリックコメント 意見聴取会

イ 市政参加市民名簿の登録状況と活用実績

<名簿登録状況>

	発送数	登録申し込み者数				名簿登載期間 (条例上 2 年以内)
		総数	男	女	備考	
H28 年度	3,000	294	151	143	H28 年 8 月時点	H30 年 7 月末まで
H29 年度	3,000	319	192	127	H29 年 8 月時点	H31 年 7 月末まで
計		613	343	270		

【市政参加市民名簿活用状況】

附属機関等に選任 23 人  
アンケート 0 人  
計 23 人

ウ まちづくり提案

0 件

(2) 三田市行政評価条例の運用状況

ア 対象

第 4 次三田市総合計画における基本計画に規定する施策（30 施策）

イ 手法

(ア) 市の実施機関による内部評価（全 30 施策）

(イ) パブリックコメント（全 30 施策） ※意見 0 件

(ウ) 行政評価委員会（附属機関）による外部評価

施策評価（5施策）

- ① 2－6 「高齢者の生きがいづくり」
- ② 2－16 「乳幼児期の子育て」
- ③ 2－22 「多様な交流観光の創出」
- ④ 2－25 「農業振興」
- ⑤ 4－1 「チーム三田」

(エ) 内部評価の見直し・確定

## 5 広域行政

「神戸隣接市・町長懇話会（幹事会3回、懇話会1回）」、「阪神北企画連絡会（開催1回）」等の広域組織において、各行政施策の広域的課題について協議等を行った。

## 6 市民意識調査の実施

### (1) 目的

市民生活の基本的な意識を把握し、政策形成、施策運営の基礎資料とする。

### (2) 調査の内容

#### ア 調査対象

市内に在住する満18歳以上の市民3,000人

#### イ 抽出方法

住民基本台帳から年齢別地域別層化系統抽出

#### ウ 配付方法

郵送

#### エ 回収方法

郵送（インターネットによる回答も可）

#### オ 調査時期

平成29年7月24日～8月14日

#### カ 項目別調査

「ごみの収集、資源化・減量化について」、「三田駅周辺の市街地における魅力について」、「ブランド創りについて」、「総合計画の取り組みについて」

#### キ 調査結果

##### (ア) 設問数

全39問

##### (イ) 標本数

2,993件

##### (ウ) 有効回収数

1,396件（46.6%） ※郵送1,199件、インターネット197件

# 秘書広報課

## 1 市長、副市長の秘書

- (1) 市長、副市長の日程調整及び随行
- (2) 市公式ホームページ「市長のページ」への日程、メッセージ等の掲載

## 2 渉外及び交際

### (1) 三田市議員待遇者

三田市議会議員待遇者規則により、2期8年（通算）以上議員経験のある者に対し議員待遇者き章を贈呈し、規則に定める待遇を行う。三田市議員待遇者数19名

### (2) 交際費（平成29年度執行状況）

内 訳	件 数	金 額
弔 慰	13 件	131,960 円
慶 祝	3 件	20,000 円
贈答・記念品	8 件	31,778 円
会 費	29 件	183,000 円
計	53 件	366,738 円

## 3 市の儀式、叙勲、褒章及び表彰

### (1) 市制記念式典

毎年7月1日の市制施行記念日に記念式典を開催し、あわせて三田市表彰の贈呈式を行っている。平成29年度は、県議会議員などの来賓、平成29年度三田市表彰受賞者、平成28年度同受賞者、区長・自治会長、市議会議員及び市議会議員待遇者等を招き、市制施行59周年記念式典を挙行了た。

- ア 式典日時 平成29年7月1日(土)13:30～14:30
- イ 式典会場 まちづくり協働センター（多目的ホール）
- ウ 参加者数 約150人（一般参加者約130人、市関係者約20人）

### (2) 栄典（叙位、叙勲及び褒章）

地方自治功労に係る受章候補者の上申（春秋叙勲、死亡叙勲ほか）等を行う。

- ア 叙勲・叙位
  - (ア) 春秋叙勲 1件（大月 勝）
  - (イ) 叙位 なし
- イ 褒章 なし

### (3) 三田市表彰

三田市表彰規則に基づき、三田市表彰選考会を経て受賞者を決定し、表彰状及び副賞を授与する。表彰選考会：平成29年5月22（月）午後2時～（市長公室）

平成29年度三田市表彰受賞者（敬称略）

表 彰	功 勞	個 人	団 体
三田市さつき賞	自 治	中谷 守	
	社 会 福 祉	青山 昌彦	
	社 会 福 祉	久後 明子	
	産 業	故 大西 良明	
	産 業	平野 勝夫	
	文 化	的場 明美	
三田市スポーツ賞		松田 志保	
		安田 帆孝	

4 市長会及び副市長会

平成29年度に市長及び副市長等が出席した主な会議

- (1) 全国市長会／総会：年1回、全国都市問題会議：年1回（公務のため欠席）

6月6・7日	第87回全国市長会議（通常総会） （東京都・ホテルニューオータニ）
11月9・10日	第79回全国都市問題会議（沖縄県・沖縄県立武道館）

- (2) 兵庫県市長会／総会：年2回（第2回総会は副市長が代理出席）

4月28日	第1回総会（神戸市・相楽園会館）
10月3日	第2回総会（淡路市・兵庫県立淡路夢舞台国際会議場）

- (3) 阪神・丹波市長会／年1回

10月11日	阪神・丹波市長会（宝塚市・鉄斎美術館）
--------	---------------------

- (4) 兵庫県副市長会／年2回

4月18日	第1回副市長会（宍粟市・宍粟防災センター）
8月23日	第2回副市長会（神戸市・相楽園会館）

- (5) 阪神・丹波副市長会／年2回

8月2日	第1回副市長会（宝塚市・宝塚ホテル、宝塚市立手塚治虫記念館）
2月8日	第2回副市長会（宝塚市・宝塚北サービスエリア、宝塚市役所）

- (6) 県・市町懇話会：年2回

4月10日	第1回県・市町懇話会（神戸市・県公館）
1月19日	第2回県・市町懇話会（神戸市・県公館）

## 5 名誉市民

三田市名誉市民条例に基づき、公共の福祉の増進他の功績が卓絶する者に対して、議会の同意を得て市長が決定し贈る称号である。三田市名誉市民証及び三田市名誉市民章をあわせて贈呈する。また、市長は特に親善その他の目的で市の賓客として来訪した者に対し、三田市特別名誉市民の称号を贈ることができる。三田市特別名誉市民証及び記念品をあわせて贈呈する。

(1) 三田市名誉市民 受章なし

(2) 三田市特別名誉市民 受章なし

(3) 過去の受章者

称 号	年 度	受 章 者
特別名誉市民	平成11	コリーン・カイク氏（オーストラリア・ブルーマウンテンズ市）
		ジェリー・ウィリアムズ氏（アメリカ合衆国・キティタス郡）
		宋奉奎氏（大韓民国・北済州郡、現済州市）

## 6 広報紙「伸びゆく三田」の発行（H29.4.15号～H30.4.1号）

(1) 発行状況

ア 発行日：毎月1・15日の定期発行（年間24回）

イ 内訳： 8ページ（全頁カラー 21回）  
12ページ（全頁カラー 3回）

ウ 発行部数：48,000部（H30.3現在）

エ 全戸配布数：46,004部（H30.3現在）

※配布については、三田市シルバー人材センターへの宅配委託事業で平成25年度から実施

(2) その他の媒体を使った広報紙の配布

ア 市ホームページ：広報紙を掲載（PDFファイル）

イ 声の広報：朗読ボランティア「ともしび」により、毎号の内容をカセットテープ・CDに吹き込み、視覚障害者へ声の広報として届けている。

(3) 広報モニター制度の活用

ア 人数：公募の市民5名（H30.3現在）

イ モニター：月2回モニターカード提出

ウ 内容：市政や広報紙に対する意見、提言などを求め、紙面づくりに役立てる

7 ミントビジョン（神戸市中央区）を活用した広報

平成20年6月から神戸新聞社が周辺自治体に開放している大型ビジョンを活用し、観光イベントや特産物、三田の魅力などを映像と文字情報で発信（4月～9月）

- (1) 放映場所：ミント神戸、神戸空港（2ヶ所）、さんちか（ラジオ関西サテライトスタジオ）
- (2) 放映回数：1日3回毎日放映（3分／回）

8 コミュニティFMラジオを活用した広報

(1) 広報番組

ア 「モリモリSANDA」

（第1水曜の18時～18時20分と同週土曜の10時～10時20分再放送）

森哲男市長が出演し、市政について分かりやすくお伝えする広報番組。まちづくりに関わる人々との対談も実施

イ 「わがまち☆イチオシ情報」

（第3土曜の10時～10時20分と翌日曜の9時～9時20分再放送）

まちづくりに関する「イチオシ情報」を分かりやすく話す広報番組

ウ 「さんだ 学び・子育て情報局」（第1・3月曜の12時～12時10分）

市職員が、子育てや教育に関する情報を分かりやすく話す広報番組

エ 「三田歴史通信」

（第1木曜の15時10分～15時20分）

市職員が、三田市の歴史のこぼれ話・郷土学習に関する取り組みやサービスなどについて分かりやすくお伝えする広報番組

オ 「スマイル人権」

（第2木曜の15時10分～15時20分）

人権に関するイベントや啓発講座など、自己啓発のための情報をお届けする広報番組

カ 「校区すみからすみまで！」

（第1・3・5土曜の10時45分～10時50分、翌日曜の19時から19時5分と翌月曜12時45分～12時50分再放送）

三田市内にある全小学校（20校）の児童が、学校や校区のことを生放送で紹介する広報番組

キ 「賢い消費者になりましょう」

（第3月曜の15時10分～15時30分）

消費生活センターの相談員や市職員が、消費生活に関する話題を解説す

る広報番組

ク 「まちづくりは地域から」

(第3火曜の15時10分～15時25分)

地域で活動されている市民の方や市職員が、協働による魅力ある地域づくりを進めるため、地域の特色ある取り組みなどを紹介する広報番組

ケ 「キッピー山のラボ とっておき！つよし君情報」

(第3水曜の15時10分～15時20分)

有馬富士自然学習センターのコミュニケーターが、有馬富士公園の自然やいきもの見どころ、その他とっておきの情報をお届けする広報番組

コ 「いきいき生涯学習カレッジ情報局」

(第3木曜の15時10分～15時20分)

さんだ生涯学習カレッジの活動紹介や、いきいきと活動されている学生の皆さんの様子をお届けする広報番組

サ 「こちら三田市消防本部」

(第4木曜の15時10分～15時30分)

消防本部職員が、日常の火災予防や応急手当の基礎知識などのほか、消防本部の取り組みについてお伝えする広報番組

シ 「さんだ観光イチオシ情報」

(第4木曜の16時5分～16時15分)

三田市観光専門員が、自分で歩いて、見て、聞いた、とっておきの情報を選びすぐってお伝えする広報番組

ス 「備えあれば憂いなし」

(6月・8月・9月・1月の第2木曜の16時5分～16時25分、同月内に再放送有り)

地震や台風などの災害に対して、日頃の備えや対策などのポイントの紹介や、市が行う防災施策についてお伝えする広報番組

## (2) 広報CM

「三田シティインフォメーションCM」

(毎日1回16時頃放送)

20秒間のスポット告知CMを放送し、市政情報やシティセールス推進を目的とした情報を発信

(月別に12種類)

## 9 ホームページ等を活用した広報

### (1) 「ホームページ」

三田市公式ホームページおよび携帯サイトから、最新情報を分かりやすく発信、三田市の魅力を市内外に向けてPR。主に小学生を対象とした「さんだキッズページ」においても情報を発信。

ア アクセス数：5,725,051件(年間)、477,088件(月平

均)

(2) 「フェイスブック」

平成23年10月から市公式Facebookページを開設。市ホームページの補完的位置付けとし、イベント情報や動画など、交流促進につながる魅力ある情報を発信している。災害時などは、緊急情報なども発信する。

1.0 広報掲示板を活用した広報

公共施設や公園、主要各駅ターミナルに設置した広報掲示板（33カ所）に、市のイベントや啓発ポスターなどを掲示している。

(1) 貼付ポスター：年間12種類

1.1 新聞やテレビ・ラジオなどを通しての広報

- (1) 市長記者会見（21回）、記者発表
- (2) 週間行事予定表の配布
- (3) 市政記者クラブ、テレビ、ラジオの取材協力

1.2 その他の広報

(1) ニュースダイジェストの作成

1.3 案内地図「わがまちさんだ」の配布

歴史、三田八景、公共施設、歳時記等を掲載した市内案内用地図

- (1) 発行部数：20,000部
- (2) 活用：転入者に配布、公共施設の窓口で希望者に配布、各市視察・会議等で配布

1.4 「三田市暮らしのガイドブック」の発行

市民の日常生活における利便性の向上につなげることを目的に、市の各種手続きなどの行政情報や、防災・生活・観光情報などを1冊にまとめて、公民協働事業により作成した冊子を、転入者や希望者に公共施設の窓口で配布した。

- (1) 発行部数：52,000部
- (2) 活用：市内全戸および全事業者に配布

1.5 市政刊行物の発行状況の把握

市政刊行物の発行状況等を把握するため登録番号を付し、効果的な広報の

推進を図る。

(1)登録件数：162件

(2)登録内容：書籍14件、小冊子33件、チラシ36件、リーフレット37件、ポスター24件、地図類3件、カード類4件、広報紙11件

## 1.6 市政出前講座

市民の要請により市職員が出向き、市政のしくみや制度、手続き、事業などをわかりやすく説明し意見交換をする中で、市民の市政理解や関心を高め、行政と市民の協働のまちづくりを推進する。

〔事業概要〕

ア テーマ数：55項目

イ 開催方法：市民主体の講座として開催。市民が各講座の担当課に申し込み、調整のうえ開催

ウ 開催実績：137回 3,744人が参加

エ 主な受講テーマ：ふるさと三田の歴史と文化財、消費者トラブルの現状と対策、防災「いざという時に備えて」など

オ 主な受講団体：高齢者関係、地縁団体(自治会、老人会など)、福祉関係体、有馬高校定時制課程 など

## まちのブランド創造課

### 1 産官学地域連携推進事業

高等教育機関や企業等が有する豊かな人的、知的、物的資源を地域社会の課題解決に活かすため、市内外の大学、企業等と取り組みを進めた。

#### (1) 関西学院大学

市民向け公開講座の開催など「連携協力に関する協定」に基づき、連携事業を実施した。

ア オープンセミナーの共催：4月22日（土）、5月27日（土）、7月15日（土）、  
9月30日（土）、12月16日（土）

イ その他、市との連携・協力事業 27件

#### (2) 湊川相野学園

市民向け公開講座の開催など「連携協力協定」に基づき、連携事業を実施した。

ア 市民大学開催：8月31日（木）、9月1日（金）、9月4日（月）、9月5日（火）

イ その他、市との連携・協力事業 20件

#### (3) その他の連携協定 <締結先(連携事業件数)>

- ・神戸医療福祉専門学校三田校（10件）
- ・兵庫教育大学（10件）
- ・神戸親和女子大学（6件）
- ・池田泉州銀行
- ・大塚製薬株式会社

### 2 学生のまち推進事業

市内外の学生が三田のまちに集い、学生の自由な発想に基づいた自主的な活動が活発に行われる「学生のまち三田」を目指した事業を実施。

#### (1) 学生のまちづくりワークショップ

- ・開催数：6回
- ・参加学生数：25人（平成30年3月末日現在）

#### (2) 学生のまちづくり活動応援制度

- ・採択団体：4団体（うち1団体は中止）
- ・助成金額：170,000円

#### (3) 学生の活動発表

- ・学生のまちづくり活動中間報告会&交流会  
日時：平成29年11月4日  
発表団体：5団体
- ・学生のまちづくりコンテスト&交流会

日 時 : 平成30年3月11日

発表団体 : 9団体

### 3 シティセールスの推進

#### (1) 第1回三田ビール検定の実施

##### ア 第1回三田ビール検定

平成29年11月3日（金・祝）まちづくり協働センター、市役所  
受検者数223人、合格者数218人

##### イ 検定セミナー

第1回 平成29年7月1日（土） 三田の歴史文化とビール学  
参加者数144人

第2回 平成29年8月5日（土） ビール飲み比べにチャレンジ  
来場者数約1,000人、セミナー参加者数103人

第3回 平成29年9月30日（土）、10月10日（火）三田城下町ウォーク&  
キリンビール神戸工場見学 参加者数111人

#### (2) シティセールスポータルサイト（さんだうえるかむ）の運営

#### (3) サンタ×三田プロジェクト

「三田」と語感が類似する「サンタクロース」を魅力資源として活用し、クリスマスにちなんだ企画の実施を通じて本市の魅力を発信することで、「チーム三田」により①三田市に対する市民の愛着を高め、②市外のファンを増やし、「知名度の向上」と「交流の促進」を図った。今年度から「チーム三田」として、実行委員会形式でメインイベントの企画を行った。また、本年度から市民から寄贈を受けたイルミネーションで風の広場の飾り付けを行った。

平成29年12月1日（金）～12月25日（月）

##### ア オープニングセレモニー・点灯式

12月1日（金）三田駅北側ロータリー・ペDESTリアンデッキ

##### イ メインイベント

12月23日（土）SANTAバス、SANTA CITY風の広場

#### (4) 川本幸民PRイベント

三田ビール検定の開催にあわせ、川本幸民及び幸民麦酒のPRを行った。

平成29年8月5日（土）市役所風の広場（第2回検定セミナー）

平成29年11月3日（金・祝）まちづくり協働センター

### 3 ふるさと納税

ふるさと納税制度を活用し、寄附のお礼として本市の魅力を全国へ向けてPRしている。

ふるさと納税にかかる寄附は「ありがとう！三田っ子応援基金」に積み立て、子どもの教育、子育て支援事業へ充当している。

平成29年度寄附実績 9,121件 184,740,800円

お礼の品 107品 応援事業者 20業者

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）寄附実績 3件 1,112,699円

#### 4 移住UIJターン促進事業

##### (1) さんだ住まいるチームメンバー

三田市に転入（移住）を希望する方や関心をもっている方の相談員として移住キャンペーン等に参加するとともに、主に市外への広報員として市の魅力や移住に関する情報の発信を行い、移住・交流の促進を図る。

ア 構成：10年以内に三田市に転入（移住）してきた5名（男性2名、女性3名）

イ 任期：平成29年8月～平成30年7月

ウ 活動実績

##### (ア) 市制度等の勉強会

9月25日（月） 市の子育て支援、市の高齢者支援など

10月23日（月） ふるさと三田の歴史と文化財、旧九鬼家邸周辺散策など

##### (イ) 移住・交流キャンペーン

10月14日（土） ひょうご北摂お試し泊付きモニターバスツアー（三田市）

10月29日（日） ひょうご北摂体験モニターバスツアー（三田市）

1月21日（日） JOIN 移住・交流&地域おこしフェア（東京）

1月28日（日） あんふあん春フェス2018（大阪）

##### (2) 移住情報誌「笑顔がひろがるマイ三田」作成（2,000部）

さんだ住まいるチームメンバーへインタビューを行い、移住のきっかけや、市内のおすすめスポットなどを紹介。

##### (3) 三田市移住体験バスツアー

市外在住者を対象にしたバスツアーを開催し、市内見学や移住者との交流等を行うことで、三田市の魅力発信や移住のきっかけづくりを進め、本市への移住・定住を促進する。

ア 日時：平成30年3月17日（土）

イ 参加人数：10人

##### (4) うえるかむ三田支援事業補助金の新設

三田市への移住を検討するために、三田市に泊付きで宿泊しようとする者に対する補助金

- ア 対象：東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）から、カムバックひょうご東京センターを通じて移住を目的に三田市を訪問する者  
イ 補助額：1人1泊につき10,000円（上限2泊、1世帯2人まで）  
ウ 実績：1名（15,500円）  
※市補助額の1/2が、申請により県から市へ補助金として交付される。

## 5 さんだ夢大使

- ・小山 進氏（パティシエ エス コヤマ オーナーシェフ）
- ・新宮 晋氏（造形作家）

都市ブランドのイメージアップと知名度向上を図るとともに、三田市のまちづくりに対する提言などを通じ、ひと・さと・食の魅力あふれる三田を国内外に広く発信していくことを目的としている。

三田まつりにあわせて、市役所風の広場に夢大使ブースを設置

## 6 観光の振興

### (1) 市内観光の現状

ア 観光入込客数 約3,292千人（うち日帰り客が約94.5%）

イ 目的別入込客数

#### (ア) 主な場所

公園 1,546千人、ゴルフ等 315千人、施設見学 328千人、温泉 235千人、文化施設 155千人

#### (イ) 目的

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ①観賞型（観る観光）      | 707千人（全体の22%）   |
| ②行楽型（遊ぶ・休養する観光） | 1,985千人（全体の60%） |
| ③スポーツ型（体験する観光）  | 342千人（全体の10%）   |
| ④その他（宿泊客等）      | 258千人（全体の8%）    |

### (2) 観光振興事業

ア 観光専門員

三田にあるツーリズム情報を広く発信するため、「三田市観光専門員」がブログ等を活用した情報発信を行っている。

イ 観光資源の整備・充実

登山道整備事業（愛宕山、三国ヶ岳、大船山、羽東山、虚空蔵山）

ウ 郷土の工芸や芸能の普及伝承活動の推進（鈴鹿竹器、三田音頭会、三田太鼓等）

## 交通まちづくり課

### 1 高齢者運賃助成事業

高齢者の社会参加や健康づくりや生きがいづくり推進を目的に、外出の機会を増やすため、平成12年1月よりバス・鉄道運賃の助成を行っている（神戸電鉄は、平成13年10月より）。平成28年度より、タクシーや神姫バスICカードのチャージでの利用も可能とし、助成範囲を拡大した。

年間500円引の割引証を15枚交付。

- (1) 対象者（4月1日現在、70歳以上・三田市在住） 15,997人
- (2) 利用可能な交通機関 神姫バス・阪急バス・阪急田園バス、神姫グリーンバス、神戸電鉄  
タクシー（一般・介護） 37社（平成30年3月末）
- (3) 割引証利用枚数 93,899枚  
(内訳) バス: 30,402枚  
バスチャージ: 21,600枚  
電車: 17,676枚  
タクシー: 24,221枚

### 2 公共交通対策

#### (1) 交通対策補助事業

##### ア 乗合バス路線運行対策事業

地域住民の交通手段を確保するため、乗合バス路線に対する補助を行い、運行の充実と維持確保を図った。

- ・地方バス路線運行対策補助(地域間幹線系統、地域間準幹線系統) 5系統
- ・生活バス路線運行対策補助 10系統

##### イ 公共交通移動円滑化設備整備費補助

- ・ノンステップバス導入補助 平成29年度: 1台 (累計) 44台

##### ウ バスロケーションシステム導入補助

- ・システム表示端末等設置 (設置場所:センリユリープラザ前)

(参考) 既設箇所:三田駅、新三田駅、関西学院大学神戸三田キャンパス、フラワータウン駅  
三田市民病院

##### エ バスシェルター等設置事業

- ・バスシェルターの設置(テクノパーク、三田西インター) 2基  
(累計) バスシェルター設置 47基  
バス停ベンチ設置 99基
- ・バスロータリー舗装(広野小学校前) 1箇所

##### オ 地域鉄道活性化等事業費補助(神戸電鉄)

- ・輸送の安全性の向上に資する設備の整備等に要する経費  
平成29年度 信号保安設備  
電路設備  
車両設備:車両更新(2編成)等

(2) 三田市地域公共交通網形成計画

少子高齢化の進展による公共交通機関を利用する属性や目的地の変化を踏まえ、市内の公共交通体系を見直し、まちづくりと一体化した持続可能な交通ネットワークの形成を目指す。平成 29 年度は、30 年度の策定に向け調査業務等を実施した。

- ・調査業務(アンケート調査、バス乗り込み調査、事業者ヒアリング)
- ・公共交通まちづくりシンポジウム、暮らしの交通まちづくりワークショップ開催  
市民とともに、日常生活を取り巻く公共交通の現状と課題を抽出し、共に解決策を考えていくため、シンポジウムと地区別のワークショップを開催  
シンポジウム(10月7日) 参加者69人  
ワークショップ(11月11、12日) 参加者55人

(3) 三田市地域公共交通活性化協議会等の開催

ア 地域公共交通活性化協議会

- ・第2回(平成29年7月5日)  
協議事項「三田市地域公共交通網形成計画策定調査業務の概要について」
- ・第3回(平成30年3月9日)  
協議事項「三田市地域公共交通網形成計画策定調査業務結果の概要について」  
「三田市おでかけサポート事業[社会実証実験]の実施について」  
「隣接市における公共交通網再編の動き」

イ 計画策定分科会 3回(平成29年6月13日、12月26日、平成30年2月22日)

ウ 地域公共交通会議分科会 1回(平成30年2月22日)

(4) 関係行政機関協議会等

「福知山線(大阪～新三田間)沿線都市連絡協議会」、「福知山線(新三田～福知山間)複線化促進期成同盟会」等において、沿線地域の開発・振興と地域住民の利便を向上するため、関係機関への要望活動、沿線地方公共団体との連絡調整を実施した。

(5) 地域外出支援活動サポート事業

交通不便地域などにおける高齢者の外出を支援するための新たな交通ネットワークの構築を図ることを目的に実施。平成29年度に締結した社会実証実験に関する連携協定(三田市、小野地区ふれあい活動推進協議会、神姫バス(株)、三田地区タクシー協議会)に基づき、平成30年度の社会実証実験実施にむけ、地域が主体となった活動内容の決定や規約作成など体制構築の支援を行った。

## 市民病院改革プラン推進課

### 1 市民病院改革プラン推進事業

三田市民病院改革プランに基づき、市民病院の経営形態の見直しを推進し、再編・ネットワーク化についての検討を進めた。

#### (1) 市民病院の継続的な経営に関する審議会

市民病院における経営の現状と課題を整理し、経営形態の見直しを検討するにあたって、外部有識者等の専門的な見地から意見等をいただく手続きとして設置した。

ア 会議名 第1回市民病院の継続的な経営に関する審議会

イ 日 時 平成30年3月6日(火)

ウ 内 容 ① 三田市民病院改革プラン(医療情勢・経営状況含む)について  
② 三田市の財政状況について

#### (2) 三田市の急性期医療に関する情報交換

平成28年度に策定された兵庫県地域医療構想及び三田市民病院改革プランを受け、三田市の急性期医療について、市内の関係医療機関等との情報交換を行った。

実施日等		内容
平成29年7月 21日(金)	『第1回三田市の急性期医療に関する情報交換』開催	① 医療情勢 ② 兵庫県地域医療構想 ③ 三田市の現状 ④ 情報交換
平成29年8月 24日(木)	『第2回三田市の急性期医療に関する情報交換』開催	① 病床機能報告データ ② 三田市及び市民病院の経営状況 ③ この地域に不足する医療と今後の急性期医療の提供体制 ④ 急性期医療の堅持と地域医療構想
平成29年9月 21日(木)	『第3回三田市の急性期医療に関する情報交換』開催	① 三田市における急性期医療の必要性 ② 今後必要な急性期医療 ③ 急性期医療の安定的かつ継続的な提供体制